

第1回実行委員会

2024年9月21日14:00～

ユニセフ会議室

(世良県協会副会長 挨拶)

今回ユニセフのシンポジウムでお招きする大谷美紀子氏は国連で子どもの権利委員会18人の中に選ばれ、委員長をされていた方で、全ての国からの報告を受けて、子どもの状況をしっかり把握されている。子どもの権利条約をもっと皆に知ってもらわなければならないと活動されている。

いじめや自殺率について、学校で話し合われることが大切であり、国、宗教を乗り越えて、障がい者も権利があること、お互い認め合うことを学ばなければならない。

Future Buildersの皆さんも一緒に参加してくれて嬉しい。

幸福度が37位というのは残念なことで、自己肯定感が少ないことなど理由についてしっかり皆で話し合いたい。

子どもが伸び伸びと成長できない環境は親にとっても心配だ。

世界は繋がっている。熊本の若者と行政、地域の方も巻き込んで、全員で皆が元気になるように考えていきたい。

12/6のシンポジウムについて(保田事務局長)

幸福度を高めるためにはどうしたら良いのか？皆で話し合っ、考えていきたい。

色んな指標がある中で、イノチェンティレポートでの日本の37位は衝撃的で自分たちが自信を持って生きていけるよう考えていかなければならない。

大学生の皆さんは、シンポジウムを経験した上で成長して、それを高校生に伝えるというこの思いで活動してくれることは有難い。

分かりやすいパワーポイントの資料を作ってくれたことに感謝したい。

実行委員会の今後の予定 10/12 10/26 11/9 11/30 12/5

友達を誘って皆で参加してほしい。チラシも用意している。

当日の団体参加校は3校で500人程の参加者が決まっている。これからももっと増やしていきたい

(感想)

- 参加者を増やしていきたい。
- 子どもの権利条約をしっかり視聴したい。
- シンポジウムについて知らないことが多いので教えてもらいたい。
- シンポジウムは2回目なので前よりも良いものにしたい。
- しっかり話し合いをしていきたい。

(大学生から)

- しっかりサポートしていきたい。
- 自分も勉強になると思うのでサポートしながら一緒に学んでいきたい。
- シンポジウムについて皆と学びたい。
- 3回目の「子どもの権利条約」なのでしっかり勉強したい。
- 熱い語り合いが出来るようにしっかり準備したい。

(パワーポイントを見ての感想)

- 日本の幸福度が低いことが分かった。日本は発展している先進国なのに、発展と幸福度は比例していない。
- 文化の違いが関係しているのかもしれない。自分の生活を考えてみると、時間に追われていて幸せと覚えることが少ないかも。発展途上国の方が幸福度が高いことを感じる。
- 日本は進歩していて暮らしも安心なのに、幸福度がそうではないことに驚いた。
- 将来の仕事でなりたい仕事の特にないと思う人が日本に多いのは、まだ自由な考えを持っていて決めていないからかもしれない。一つの理由で決めつけるのは良くないかも。そういうところを考えていきたい。
- 幸福度は家族や社会の関わり方で変わってくると思う。
パワハラなどのハラスメントで自己肯定感が低くなる。家庭環境がしっかり関係すると思う。身体的が1位なのになぜ?と思う。
- 国の発展と幸福度は比例していないと思う。
控え目で謙遜する日本の文化が関係しているし、複雑化していると思う。
- 学校の受験制度やいじめについて解決法を考えたい。
- 幸福度が低いのは、こうしたいという目標が高いからではないか?
- 自分を取り巻く環境が、親からの圧迫とかで自由にならない部分もあるのでは?
海外のような教育で伸ばしていけばいいのかもしれない。
- 受験のストレスや「高校どこ?」(熊本では特に聞かれる)というたいした問題ではない質問など周囲の環境で幸福度を下げている。
海外では出身校なんて誰も聞かない。
- 他人から自分に対して言われた言葉でメンタルが下がった。言った相手のことも大切にしてほしい
- 色んなストレスやハラスメントで無気力になったり、不幸になった人がいるのではないか。
- 周りの環境と比べたり、思い描く理想の幸福度が高いからまだまだと思うのでは?
- 自分を大切にしていないことや周りを大切にしていないことが問題!余裕をもって接することができていない。
- 自分が幸せになる道を先に探してみる方がいいのでは?
- これを達成しようという目標やこういう人になりたいという目標を持っていれば自己肯定感もつくのでは。
- 昔(小さい時)と違って明確な目標がない。
- ネットで他人と比べてしまうので、自分で自己肯定感を下げている。
- 小さい目標を積み重ねてクリアしていくことで幸せを感じることに繋がるのでは?